

幼児教育公開講座

おもちゃインストラクターフォローアップ講座
「遊び力」が身に付くおもちゃ実践論

東京おもちゃ美術館 岡田 哲也

日時：平成27年5月9日(土) 13:00～16:00

◆講座要項掲載内容◆

【13:00～15:00】「遊び方」が身に付くおもちゃ実践論

本ワークショップ(WS)は3部構成で行います。

- (1) 世界のおもちゃパフォーマンス(40分)
東京おもちゃ美術館でも人気のおもちゃの遊び方を紹介するパフォーマンス
- (2) おなじおもちゃをみんなで遊ぶWS(40分)
参加者全員が同じおもちゃで遊ぶワークショップ
- (3) 積み木WS(40分)
積んで遊ぶだけではない、新しい積み木の遊び方を参加者と一緒に見つけていくワークショップ

【15:00～16:00】情報交換会

本学公開講座にておもちゃインストラクターの資格を取得された方やNPO法人グッド・トイ委員会の会員の方々を対象に、実践力の向上を目指した「おもちゃインストラクターフォローアップ講座」を開催しました。東京おもちゃ美術館の岡田哲也先生による『「遊び力」が身に付くおもちゃ実践』をテーマにしたワークショップ形式の講座であり、41名の方が参加されました。保育士、児童厚生員、児童指導員、学生など、また、年齢層も10代から60代までと幅広い参加者となりました。



東京おもちゃ美術館の岡田先生



「かおレイヤー^{注1}」を使って、部屋の中の色んな「かお」を探しました。



「かおレイヤー^{注1}」を顔にあて、色んな表情を楽しみました。

注1「かおレイヤー」:透明カードに顔のパーツが描かれており、それを色々なものに重ねて遊ぶおもちゃ。



つみきを並べていると、透明人間に邪魔をされてしまいます。



感覚で自分の顔の高さに積み木をつんでみましょう。思ったよりも高かったり、低かったりします。



息を合わせて手の上に積み木を積んでいきます。

本講座に関して、参加者の方にたくさんの感想を頂きました。以下に、その一部を抜粋してご紹介します。

- 新しいおもちゃを知ることができた。今持っているもので新しい遊びを知ることができた。子どもへの感じさせ方を改めて考えることができた。
- 一つのおもちゃで年代にとらわれず遊べるのが分かった。
- 積み木の遊び方のレパートリーが増え、それだけでなく考え方、視野が広がった。
- 先生の楽しいトークをまじえて「遊ぶ」ことの楽しさが身体一杯で感じる事ができました。先生のトークは「言葉の遊び」だと感じました。
- 今あるおもちゃでも今の遊び方以外に十二分に遊ぶことができるのだと知り、早速かえってやってみたくなりました。
- 子どもが最初に出会うおもちゃについて考えさせられた。「ぎょうれつぎょうれつ」の絵本の紹介があり素敵な絵本だと思った。
- 「かおレイヤー注1」がとても楽しかったです。かおのパーツを褒め合うことによってコミュニケーションが取れたり、まわりを見てかおのパーツを探したりと刺激を受けることができました。
- 様々な方との交流が楽しめた。
- 今回の講座で福井の仲間思いを共有する方と知り合えてよかった。
- おもちゃはコミュニケーションツールだということを感じさせてもらいました。
- 色々な人と関わりながら活動できて楽しかったです。自分が知っているおもちゃもありましたが、遊び方が様々で今後使っていこうと思いました。
- 年に数回開催してほしい。
- 時間が足りない。
- 2時間は短いのでレクチャーも1時間ほど入れてほしい。おもちゃ美術館での実践、世界のおもちゃの動き、流行、流れも教えてほしい。

(文責：出村友寛)